



Web to ケースとPardotフォームハンドラーの統合について

ウェルコムデザイン様

0. 目次

- 1. Web to ケースとPardotフォームハンドラーの主な役割とは?.....1
- 2. SalescloudからWeb to ケースの作成方法について.....2
- 3. Pardotフォームハンドラーの作成について.....4
- 4. PardotフォームハンドラーとWeb to ケースの統合について.....6
- 5. Web to ケースを利用したレコードタイプの振り分けにつきまして…8
- 6. お問い合わせ先 / Salesforce HELPについて.....10

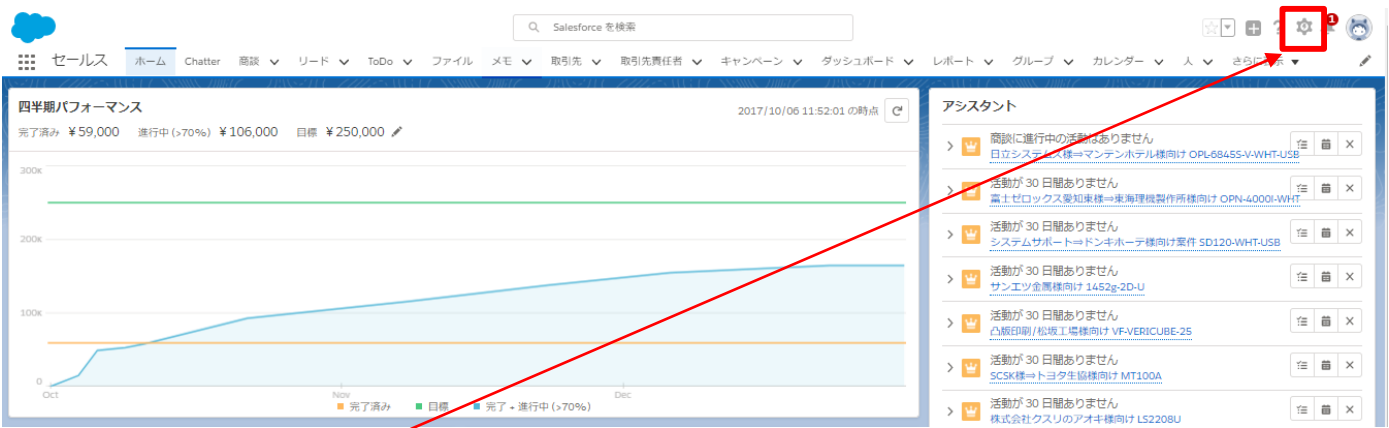
1.Web to ケースとPardotフォームハンドラーの主な役割とは？

【Web to ケース】
現在使用中の Web サイトを利用して、顧客のお問い合わせ情報を新規ケースとして Salesforce 内に自動的に登録し、顧客の要求にリアルタイムに対応できます。

【フォームハンドラー】
フォームハンドラーを使用すると、自分でフォームを管理しPardotにデータを投稿できます。これによりフォームのデザインを完全にカスタマイズすることができ、Pardotを使用してフォームの登録をトラッキングすることもできます。

2. SalescloudからWeb to ケースの作成方法について

STEP1 Web to ケースの作成について



設定ボタンをクリックします。



クイック検索窓から「ケース」と入力します。

「Web to ケース HTML ジェネレータ」をクリックします。

2. SalescloudからWeb to ケースの作成方法について

STEP1 Web to ケースの作成について

作成するHTMLフォームに合わせて「選択可能な項目」から「選択済み」へ移動します。

フォーム登録後の戻り先URLを指定します。(例：サンキューページなど)

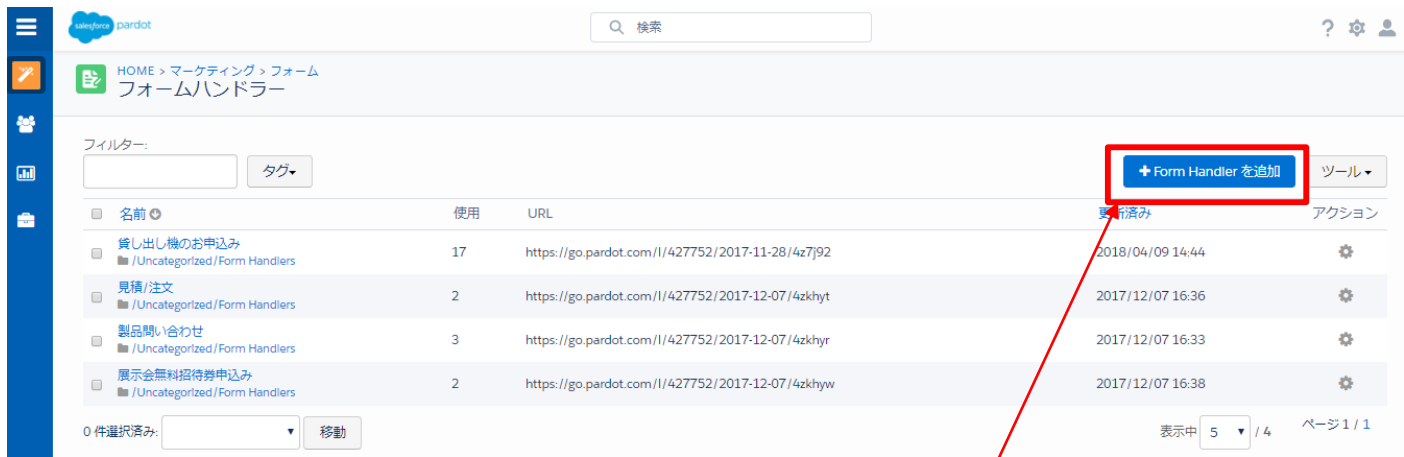
チェックの選択は任意です。BOT攻撃などを対策する場合は設定して下さい。

HTMLコードが発行されます。以上でWeb to ケースの作成は終了です。

3. Pardotフォームハンドラーの作成について



pardotへログインした後、「マーケティング」→「フォーム」→「フォームハンドラー」をクリックします。



「Form Handlerを追加」をクリックします。

3. Pardotフォームハンドラーの作成について

HOME > マーケティング > フォーム > フォームハンドラー
貸し出し機のお申込み

フォームハンドラーを編集 キャンセル

名前 * 貸し出し機のお申込み ← 適当なお問合せフォームの名前を入力します。

フォルダー * /Uncategorized/Form Handlers 選択 ← 既に選択されていますので設定の必要無しです。

タグ タグを追加
注意: タグはフォームハンドラーにのみ適用されます

キャンペーン * ウェルカムデザインWEBサイト (http://www. 選択 ← 作成されている適当なキャンペーンを選択

☐ キオスク/データエントリモード: ブラウザーは送信したプロスペクトとしてクッキーに記録されません

☒ 成功した場所へのデータ転送を有効化

☐ ビジターアクティビティの制限を無効化し、登録のたびに自動返信メールを送信 制限を無効化する理由?

成功した場所 * 特定の URL ← 「成功した場所」を選択肢Web to ケースのURLを記入します。

成功した場所 * https://webto.salesforce.com/servlet/servlet.WebToCase?enc

エラー発生場所 * 参照元 URL

+ 完了アクション

+ + + +

+ 新しい完了アクションを追加

+ フォーム項目

☒ ☐ "email" マッピング先 デフォルト項目: メールアドレス (r)

☒ ☐ "00N7F000009V38x" マッピング先 デフォルト項目: 姓

☒ ☐ "00N7F000009V392" マッピング先 デフォルト項目: 名

+ 新しい項目を追加

Pardotのデータ項目と対象フォームの入力項目にあるnema属性をマッピングします。

フォームハンドラーを保存 キャンセル ← 設定完了後、「フォームハンドラーを保存」をクリックします。

HOME > マーケティング > フォーム > フォームハンドラー
貸し出し機のお申込み

フォームハンドラーを編集 フォームハンドラーコードを表示 レポートを表示

まとめ

名前 貸し出し機のお申込み

フォルダー /Uncategorized/Form Handlers

マッピング先 URL http://www. (http://www. 選択

エンドポイントURL http://go.pardot.com/1/427752/2017-11-28/47792 HTTP HTTPS ← 作成後の画面になります。発行される「エンドポイントURL」をWeb to ケースの統合時に使用します。

成功した場所 https://webto.salesforce.com/servlet/servlet.WebToCase?encoding=UTF-8

エラー発生場所 参照元 URL

データ転送 ☒

タグ

作成日時 2017/11/28 17:19

更新日時 2018/04/09 14:44

作成者 作業用 ZENoffice

更新者 作業用 ZENoffice

完了アクション

アクションがありません

フォーム項目のマッピング

以上でフォームハンドラーの作成は終了です。

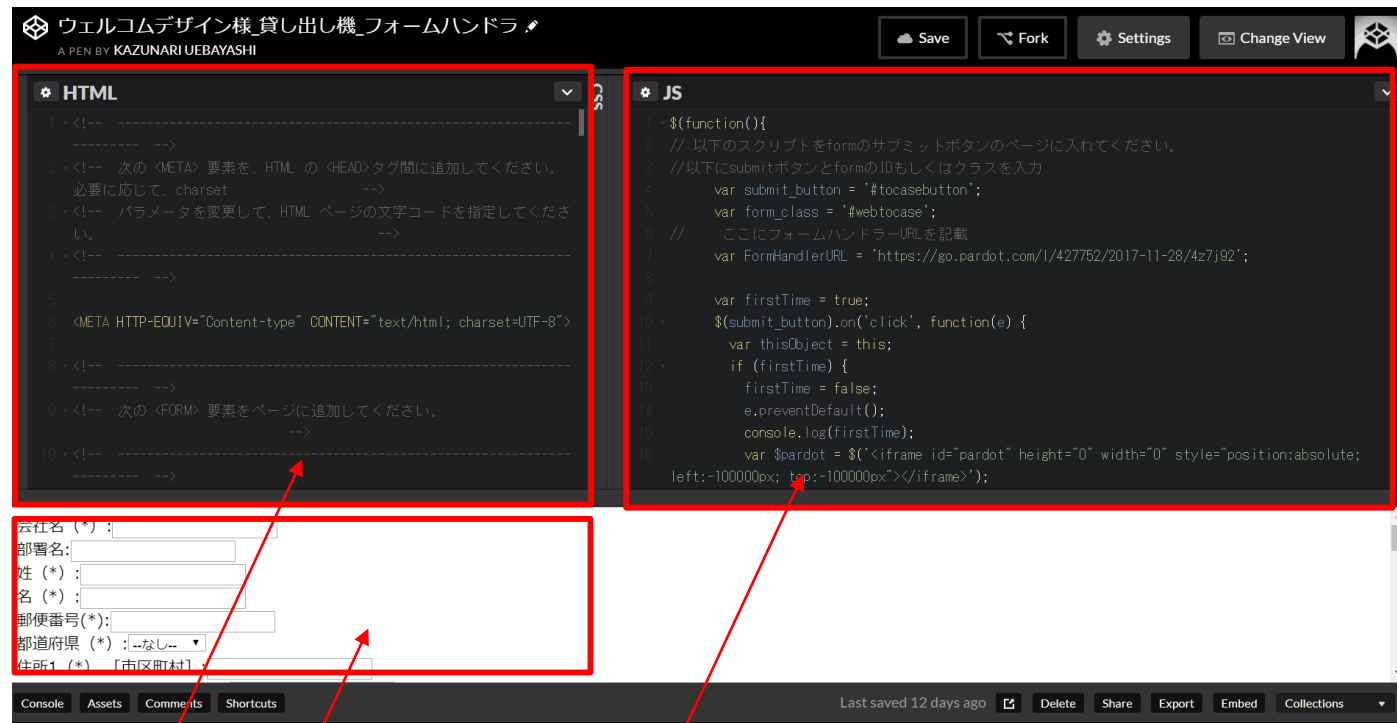
4. PardotフォームハンドラーとWeb to ケースの統合について

Pardot側へデータをPOSTする為に、弊社で作成したJavaScriptをお問合せフォームの”submit”ボタンページに埋め込んで頂く必要があります。”codepen”というウェブサービスで説明させていただきます。

Codepenとは？

Codepenとはウェブ開発に必要なHTML,JS,CSSの三要素を実際の表示を見ながら開発できるウェブサービスです。

以下画像は画面パーツの説明になります。



Salescloudで作成したWeb to ケースのHTMLコードを貼り付け部分。

プレビュー画面部分。

弊社で作成したJSコードの貼り付け部分。

上記画像のWebページURLは以下になります。
<https://codepen.io/KAZUNARIUEBAYASHI/pen/bvyBKj?editors=1010>

4. PardotフォームハンドラーとWeb to ケースの統合について

新規でお問合せフォームを作成した場合に改修する必要がある項目は以下の赤線部分になります。

```
JS
1  $(function(){
2  // 以下のスクリプトをformのサブミットボタンのページに入れてください。
3  //以下にsubmitボタンとformのIDもしくはクラスを入力
4      var submit_button = '#tocasebutton';
5      var form_class = '#webtocase';
6  //   ここにフォームハンドラーURLを記載
7      var FormHandlerURL = 'https://go.pardot.com/l/427752/2017-11-28/4z7j92';
8
9      var firstTime = true;
10     $(submit_button).on('click', function(e) {
11         var thisObject = this;
12         if (firstTime) {
13             firstTime = false;
14             e.preventDefault();
15             console.log(firstTime);
16             var $pardot = $('<iframe id="pardot" height="0" width="0" style="position:absolute;
left:-100000px; top:-100000px"></iframe>');
```

フォームにあるお問合せ送信ボタンのIDまたはクラスを入力。

フォームのIDまたはクラスを入力。

フォームハンドラー作成後に発行されたURLを入力。

設定完了後、Codepen上でお問合せを実施し、Salescloudのケースにお問合せ内容が登録されている事の確認とPardotのフォームハンドラーにプロスペクトが登録or更新されていることを確認をして下さい。

以上で、PardotフォームハンドラーとWeb to ケースの統合についての説明は以上です。

5. Web to ケースを利用したレコードタイプの振り分けにつきまして

レコードタイプとは？

レコード内容によって表示形式をカスタマイズできます。

以下、赤線部分がレコードタイプのイメージです。

レコードタイプの作成についてはSFDCのHELPページより手順が掲載されておりますので、以下ページを参考下さい。

https://help.salesforce.com/articleView?id=creating_record_types.htm&type=5

STEP1

作成したレコードタイプIDをWeb to ケースで作成したHTMLコードに埋め込みます。

手順①

Salescloudにログインした後に設定→クイック検索窓へ「エクスポート」と検索します。

手順②

「データのエクスポート」→「今すぐエクスポート」をクリックします。

手順③

「Record type」にチェックし「エクスポートを開始」をクリックします。
エクスポート開始後、一定時間が経過しましたらページを再更新します。

手順④

ページ更新後、データがエクスポートされておりますので「ダウンロード」をクリックします。

5. Web to ケースを利用したレコードタイプの振り分けにつきまして

ダウンロードしたエクスポートデータになります。
IDは赤枠部分になります。「hidden」形式でWeb to ケースで生成したHTMLに埋め込みます。

自動保存 (●オフ) | RecordType - 読み取り専用 - Excel | 上林和成

ファイル | ホーム | 挿入 | ページレイアウト | 数式 | データ | 校閲 | 表示 | 実行したい作業を入力してください

貼り付け | 游ゴシック | 11 | A | A | 折り返して全体を表示する | 標準 | 条件付き書式 | テーブルとして書式設定 | セルのスタイル | 挿入 | 削除 | 書式 | セル | オートSUM | フィル | クリア | 並べ替えとフィルター | 検索と選択 | 編集

グリッドボード | フォント | 配置 | 数値 | スタイル | セル | 編集

A2 | 0127F000000ddknQAA

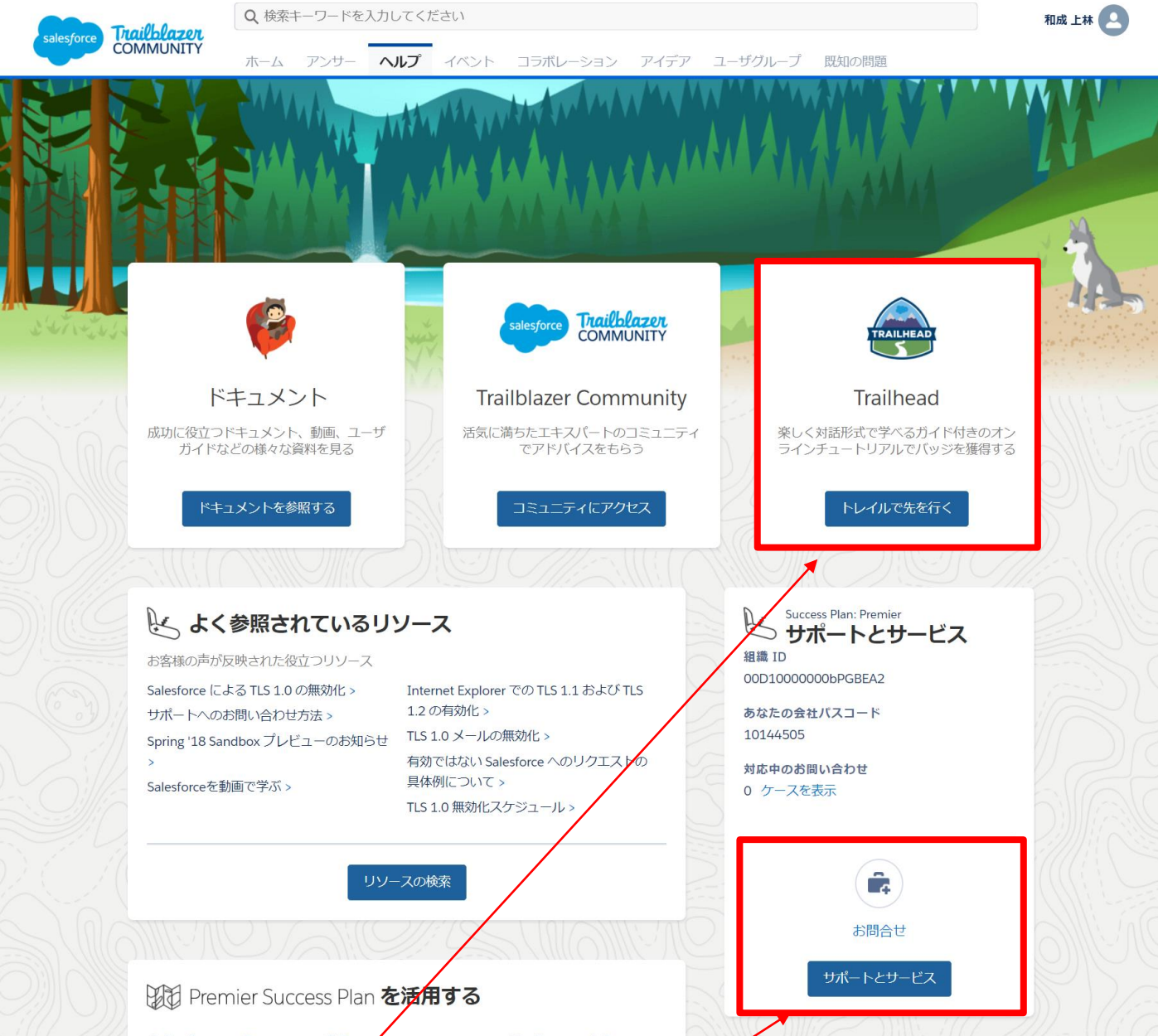
	A	B	C	D
1	Id	Name	ModuleNamespace	Description
2	0127F000000ddknQAA	貸出機申し込みフォーム		
3	0127F000000ddlgQAA	見積もり/注文フォーム		
4	0127F000000dg9lQAA	製品問い合わせ		
5	0127F000000dgALQAY	展示会無料招待券申込み		
6	0127F000000va3QAAQ	インテナルコミュニティ: Question レコードタイプ		Record type used to associate Question with a specific community
7	0127F000000va3PAAQ	インテナルコミュニティ: Reply レコードタイプ		Record type used to associate Reply with a specific community
8	0127F000000va3QAAQ	インテナルコミュニティ: Idea レコードタイプ		Record Type used to associate ideas with a specific community
9				

埋め込みコードの一例は下記。
`<input type=hidden id="recordType" name="recordType" value="0127F000000ddkn">`

黄色マーカ一部分にIDを埋め込みます。IDの桁数は15桁に設定する必要がありますので、下3桁を削除します。

レコードタイプの振り分け説明は以上になります。

Salesforceのhelpサイトになります。
ジーベック様のSalescloud環境ホーム画面にリンクを配置しております。



Salescloudについて不明な点があれば「お問い合わせ」から不明な内容を
フォームに記入し問い合わせ完了後、SFDCサポートとメールで問題点について
やり取りが可能です。

Salesforce製品の機能や概念がWebで学べるシステムです。